



東西融合型看護を考える 国内初の国際会議開催
平成20年5月2、3日と富山大学医学部看護学科において「東西融合型看護の創生」をテーマに国際会議を開催した。日本、韓国、中国、台湾、タイの5カ国を代表する大学が連携し、東洋医学と西洋医学の両方を取り入れた看護の在り方を研究している。2年に1度国際会議を開いており今回が3回目で、日本での開催は初めてとなる。看護の携わる研究者や大学関係者ら約100人が出席して千葉大学大学院医学研究院の寺澤捷年教授が「東西融合型看護への期待」と題した講演や各国の研究者による講演、アロマセラピーの体験、血の巡りをよくするための足のマッサージなどのデモンストレーションが実施された。